

塗装仕様書  
( アクアシール700S )  
ーコンクリート面ー

大同塗料株式会社  
技術部

工事件名：

塗装仕様／適応下地...コンクリート面				
工 程	使 用 材 料	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> )	施工間隔 (20℃)	塗布方法
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 汚れ、油分などを除去し、清浄かつ乾燥した状態にしてください(含水率目安：ケツト水分計6%以下)。</li> <li>・ 塗布対象面のクラック、ジャンカ、欠損等のある場合は、色合いおよび吸い込みが同程度のモルタル補修材およびシーリング材等で補修し、乾燥・硬化した状態にしてください。</li> </ul>			
1	アクアシール700S	0.20	1～2回 追っかけ塗り※	はけ・ローラー ・スプレー

※塗布面の吸い込みが少ない場合は、0.10kg/m<sup>2</sup>で2回塗りして下さい。表面が吸い込んだ状態になれば重ね塗りが可能です。

- ・ ローラーで塗布する場合は、砂骨材ローラー(極細目)が有効で、ローラーをゆっくりと転がして材料を置く感覚で塗布すると規定量が付きやすくなります。既設構造物等の荒れた表面では中毛ローラーの方が有効な場合もあります。
- ・ エアレススプレーで塗布する場合は、口径0.5～0.8mm程度、吐出圧約3MPaを目安としてください。

<事前確認>

- (1) 新築か補修かによって、また基材の種類によって施工の工程、数量や養生等に影響があるので十分に確認してください(補修部位等、吸い込みの少ない場合は注意が必要)。
- (2) アクアシール700Sを塗布した際、稀に風合い変色および樹脂等のうきが発生することがあります。これを防ぐための事前確認および塗布量決定のための試し塗りを必ず実施してください。
- (3) 吸込みの多い素地では吸い込みが収まるまで塗り重ねる必要があります。その際、コンクリートの風合いを損なうことがありますので、必ず事前に試験塗装を行い、確認してください。
- (4) コンクリート等基材の粗さや吸込みの程度、汚れ、塩分、藻類等の付着によっては、撥水効果が出にくいことがあります。事前の試し塗りで合わせてご確認ください。

<注意事項>

- (1) 引火性液体ですので、火気および高温物のあるところでは使用しないでください。
- (2) 取り扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、耐油性保護手袋、保護眼鏡、前掛等を着用してください。塗装中、乾燥中とも換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにしてください。取扱い作業場所には、局所排気装置を設けてください。
- (3) 使用前に良く攪拌し、底部に沈殿物のないことを確認後、稀釈せずそのまま使用してください。
- (4) 気温5℃以下、風速5m/秒以上、降雨、降雪の場合の施工は避けてください。また、施工中に降雨、降雪などにあった場合は施工を中止し、シート養生をして塗布面を保護してください。
- (5) 塗布対象面以外の箇所(植物、金属、ガラス、木材、コーキング材等)は養生等を施し、付着させないようにしてください(固着すると全く除去できなくなる場合がありますので十分に注意してください)。
- (6) スプレー機器、ローラー、はけ等は施工部位を考慮して適切なものを使用してください。

塗装仕様書 アクアシール700S

- (7) スプレー機器、ローラー、はけ等使用後はシンナー等で洗浄してください。
- (8) 塗布後24時間は水がかからないように養生してください。